



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

令和 3 年 1 月 12 日

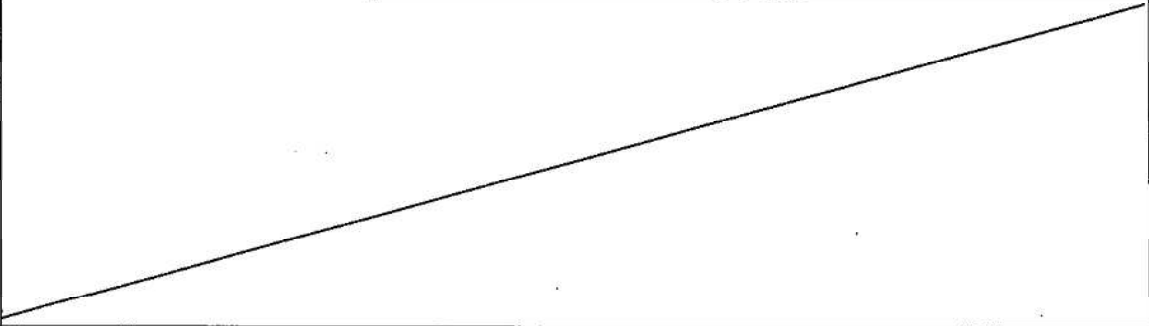
岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ ヒライガックチイキヅクリカイギ
団体名 平井学区地域づくり会議
所在地
連絡先
フリガナ
代表者 役職・氏名

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	地域づくり会議の運営と事業展開
事業実施小学校区・地区	平井小学校区
事業実施回数	新規 ・ <u>継続</u> 7 回目 / 【平成 27 年度から】
課題	平井学区地域づくり会議では、認知症予防対策の一環として「オレンジカフェひらい」を月 1 回開催している。又子供たちの居場所づくりとして「プレイパーク」を年 2 回開催している。その他、山陽学園大学や旭東病院の協力を得て「健康チェック」や「認知症サポーター養成講座」も年 2 回開催してきた。令和 2 年度は新型コロナウイルスのため一部活動を中止したこともあったが概ね出来る範囲で実施してきた。緊急事態として消毒液「スーパー次亜水」の配布を令和 2 年 6 月～12 月まで行った。また令和 3 年度には、中学生や高校生を中心に自分たちが住む地域の事をもっとよく知り、主体性をもって地域活動に参加できるプロジェクトを立ち上げる計画も始動している。
事業の目的	地域づくり会議は、地域に密着した情報の共有や課題解決の場とし、課題解決に向けた話し合いや方向付け、支援体制等を総合的に調整し推進することにより、地域で支え合い、安全で安心して笑顔で暮らせる平井学区を目指すことを目的としている。 まず高齢者対策として、認知症の早期発見のための取り組みや認知症予防の観点から「オレンジカフェひらい」を立ち上げ月 1 回開催してきた。 また子供達の居場所づくりの一環として「プレイパーク」を計画し年 2 回程度実施している。 山陽学園大学、旭東病院の協力により、「健康チェック」「認知症サポーター養成講座」等も年 2 回実施している。

事業の内容・感染防止対策の内容	1 認知症予防対策として「オレンジカフェひらい」を月1回開催 2 子供達の居場所づくりの一環として「プレイパーク」を年2回開催 3 地域住民の健康対策として「健康チェック」を年2回開催 4 認知症を理解し、認知症に優しい地域を目指して「認知症サポーター養成講座」を年2回開催 5 災害時や防犯に役立つと思われる「緊急用ホイッスル」を平井専用IDカードと共に地域の高齢者や認知症サポーター養成講座受講者に配布する 6 防犯対策として「防犯カメラ作動中」の警告板を30枚製作、学区内の公園のフェンスや通学路電柱に設置 7 中学生・高校生等を中心に、生まれ育った場所で、地域活動を行うことで地域の事をもっとよく知り、主体性を持って地域活動に参加できるプロジェクトとして新たな専門部会を立ち上げる 8 会議、事業開催時3密を避ける、体温を測る、手を洗う、マスクを着用する、これらを徹底する 9 消毒液「スーパー次亜水」を令和2年6月から12月まで、学区住民に配給した 10 自動で体温を測り、消毒液を噴霧する機械を東山公民館に設置した 11 家庭内で余ったマスクを提供してもらい、各種施設に配布した 12 12月に行われた「オレンジカフェひらい」では、歌や演奏をする会場と観客席を別々の部屋とし、リモート方式で楽しんでもらった
期待される成果・目標	【期待される成果】 ・地域づくり会議の構成委員は、各種団体の代表者から構成されており、議論された内容や方針など所属する団体へ周知することにより、学区一丸となって地域課題に取り組むことが出来る ・「防犯カメラ作動中」の警告文を設置したことで、犯罪の抑止力となり安心安全な地域となる 【令和3年度の事業目標】 ・「オレンジカフェひらい」は、月1回の開催を継続する ・「プレイパーク」も年2回の開催を継続する ・「健康チェック」「認知症サポーター養成講座」も年2回の開催を継続する ・令和2年中止した「旭川クリーン作戦」を再開する ・新たに、中高生を中心に、自分たちが住む地域の事をよく知り主体性をもって地域活動に参加できるプロジェクトを立ち上げる計画がある

企画などの工夫	・地域づくり会議で議論された課題やテーマに応じて専門部会を発足させ、同部会で具体検討を行う。 ・専門部会で検討された課題解決策や対策事業の計画などは、地域づくり会議に諮り、審議する。同プロセスにより、効率的な会議運営を行う。 ・学区発刊のチラシを作成し、活動内容をアピールする。		
協働する団体等	・山陽学園大学、山陽学園短期大学 ・岡山旭東病院 ・東山公民館 ・岡山市ふれあい介護予防センター ・東山中学校区及び平井小学校区の学校園 ・岡山市ボーイスカウト団		
事業の情報公開	<table border="0"> <tr> <td> ・チラシの作成と世帯配布 ・学区発刊の新聞に掲載 ・学区ホームページに掲載 ・各種団体の発刊誌に掲載 </td><td> 地域づくり会議発行 平井学区連合町内会 平井学区電子町内会 地区社協、地区民児協、学区愛育委員など </td></tr> </table>	・チラシの作成と世帯配布 ・学区発刊の新聞に掲載 ・学区ホームページに掲載 ・各種団体の発刊誌に掲載	地域づくり会議発行 平井学区連合町内会 平井学区電子町内会 地区社協、地区民児協、学区愛育委員など
・チラシの作成と世帯配布 ・学区発刊の新聞に掲載 ・学区ホームページに掲載 ・各種団体の発刊誌に掲載	地域づくり会議発行 平井学区連合町内会 平井学区電子町内会 地区社協、地区民児協、学区愛育委員など		
学区地区への広がり			
前年度からの見直し拡充点	(1) 認知症予防対策事業 ・「オレンジカフェひらい」を月1回開催する。令和2年度は新型コロナにより開催出来ない月もあったが、原点に返り予防策を講じながら開催できるよう検討していく。 ・「認知症サポーター養成講座」、「健康チェック」も内容、参加者等新たに考慮しながら年2回の開催を続けたい。 (2) 子育て世代の課題とニーズ対策事業 ・「プレイパーク」は従来通り年2回開催出来るよう工夫したい。新型コロナが収まれば以前開催した「ひらい子供フェスタ」の様なものも企画していきたい。		

次年度以降の予定	①次年度以後の活動計画 ・今年度（令和３年度）事業活動のチェック（PDCAmCA） ・次年度継続事業の活動計画策定と実行 ・地域課題の残課題検討の方向付けと検討 ・支援体制の仕組みづくり ・新サービス事業の検討と構築 等 ②資金の確保について ●次年度も区づくり推進事業を申請する予定 □（ ）年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 資金確保の具体的な方策：
その他PRしたい点	・学区内の単位町内会・自治会に対し、本会議をモデルケースに地域で支え合う仕組みづくりや町内会の問題をみんなで考え、話し合うことの重要性を訴求し、単位町内会・自治会へ同様の会議体設立を推進する足がかりとしたい。 ・近年、国の内外で多発する、地震や巨大台風等による風水害の発生に備え、従来とは異なる自主防災について考えていく必要がある。 ・新型コロナについては、これ以上感染が広がらないよう、３密を避け、手洗いやマスクの着用等お互いできることを徹底する。

事業スケジュール（企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。）

月日	活動内容
4月	①「オレンジカフェひらい」開催 ②「プレイパーク」開催
5月	①「オレンジカフェひらい」開催
6月	①「オレンジカフェひらい」開催 ②定例会開催 ③認知症サポーター養成講座開催
7月	①「オレンジカフェひらい」開催
8月	①「オレンジカフェひらい」開催 ②「健康チェック」開催
9月	①「オレンジカフェひらい」開催 ②定例会開催
10月	①「オレンジカフェひらい」開催
11月	①「オレンジカフェひらい」開催 ②「プレイパーク」開催
12月	①「オレンジカフェひらい」開催 ②定例会開催 ③「認知症サポーター養成講座」開催
1月	①「オレンジカフェひらい」開催
2月	①「オレンジカフェひらい」開催
3月	①「オレンジカフェひらい」開催 ②定例会開催 ③「健康チェック」開催 ④会議報告・反省会

収支予算書

収 入

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内 容
岡山市補助金	200,000	295,000	
実施団体負担金	200,000	195,000	
参加者負担金			
協賛金			
寄附金、他収入			
収入合計	400,000	490,000	

支 出

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	90,000	100,000	プリンターインク等事務用品など
②食糧費	50,000	60,000	会議用お茶、飲料水等
③印刷製本費	70,000	80,000	会議資料コピー、チラシ等
④燃料費	0	0	
⑤光熱水費	0	0	
⑥通信運搬費	30,000	30,000	切手、郵送料
⑦広告料	0	0	
⑧手数料	0	0	
⑨使用料・賃借料	0	0	
⑩原材料費	0	0	
⑪委託料	120,000	0	
⑫工事請負費	0	0	
⑬報償費	20,000	60,000	新プロジェクト立ち上げの講師料等
⑭保険料	20,000	20,000	
⑮旅費	0	40,000	新プロジェクト立ち上げの事例見学等
小計(①)	400,000	390,000	
⑯新型コロナウイルス 感染症防止対策経費		100,000	非接触型体温計、消毒液自動噴霧 器、フェイスシールド、飛沫感染防止カ バー等
小計(②)	0	100,000	
支出合計(①+②)	400,000	490,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	☒ 希望する ・ ☐ 希望しない
----------------	---

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

「オレンジカフェひらい」「プレイパーク」「健康チェック」「認知症養成講座」等を例年通り開催しながら、新プロジェクト立ち上げの準備のために必要である

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。